

テーマは 「安らぎ」 災害への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

## 令和元年 7月の安らぎ通信

### 目次

- (1)  事前避難 自治体悩む 南海トラフ「半割れ」後に備え
- (2)  南海トラフ 防災推進計画 関西自治体 15%未達成
- (3)  大阪北部地震 「一部損壊」補修進まず
- (4)  帰宅困難減らせ 企業がルール 大阪北部地震から1年

- (1)  事前避難 自治体悩む 南海トラフ「半割れ」後に備え

高知黒潮町 住民が応じるか 大阪市 実施計画立てず

\*南海トラフ地震の防災対策推進基本計画が修正されました。

・想定死者数は建物の耐震化率の向上で、2013年に比べ3割減の231,000人。

\*東西に広がる震源域の片側で「半割れ」が発生した場合の対応も新たな課題に。

・国は、まだ地震が起きていない残り半分側の地域の対象住民に **1週間の避難**を求めます。

\*津波到来まで約2時間と余裕のある大阪市では、現時点で事前避難の計画は予定していません。

(2019年6月1日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

- (3)  南海トラフ 防災推進計画 関西自治体 15%未達成

\*政府は、南海トラフ地震に対応した自治体の防災対策を示す推進計画の作成状況を公表。

・関西2府4県は、対象となる172市町村のうち15%の25市町村が作成していませんでした。

・大阪府内では、河内長野市や藤井寺市など4市町が推進計画を作っています。

\*京都府は南海トラフ地震の津波被害が想定されていないのも関わらず、作成率は100%。

(2019年6月1日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

“たろうの店きごころ” 山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781

テーマは 「安らぎ」 災害への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 2

(4)  大阪北部地震 「一部損壊」 補修進まず

多額な費用、業差も不足

\*最大震度 6 弱を観測し、関連死を含め 6 人が犠牲となった大阪府北部地震。

\*滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良の 5 府県で 59,000 棟を超える住宅が被害。

・99%は倒壊を免れた「一部損壊」で公的支援の対象外。

\*多額の費用負担や業者不足を背景に、家屋の補修は終わりません。

(2019年6月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(5)  帰宅困難減らせ 企業がルール 大阪北部地震から 1 年

出勤を制限 / 家族安否、ITで

\*企業などは地震を教訓に、「出勤しない」ルールを盛ったマニュアルを作るなど、混乱を抑える取り組み。

\*地震当日に勤務先から出勤に関する指示がなかった人は 6 割以上。

(2019年6月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

